

矢追インパクト療法(以下Y.I.T.と略す)は何故効くのか？

Why Y.I.T. is effective ?

東京渋谷 山脇診療所
Yamawaki Clinic

やまわき たかし
山脇 昂
Takashi Yamawaki

Y.I.T.は焼灼療法の1つであり、ショック療法の1つです。アナフィラキシーショックとはこれらが体に最大最急に作用した状態を言います。日光浴をする、運動をする、食事をする、アルコールを飲む、入浴する、薬剤を飲む等々もすべて考えてみれば焼灼療法であり、ショック療法です。何かに感激して痺れるというのも医療的にはショック療法です。

Y.I.T.における皮内注射の沁みるように広がって行く痛さは、雫を一滴静かな水面に落とした時のように波動が広がって行くことにあります。レセプター(受容器)が沢山ある皮膚では〈沁みて痛い〉という感覚が広がって行き、体が温かくなった感覚に変わります。当該部毛細血管が急速に拡張されますから〈沁みて痛い〉という感覚が起こり、血流が急速にサプライされますから温かさに変わります。この現象が重要なのです。カプサイシンは口内で〈辛さ〉刺激を起し、急速に毛細管流を増やしますから、体は温かくなります。しかし今のところカプサイシンは口の中が主で作用し、Y.I.T.は皮内で器用に作用します。

それは皮内・皮下・筋膜・筋肉層・骨膜等に急速に毛細管流が増強する現象です。当該部の毛細血流が急速に増え、体積が急速に拡

大します。この事象が〈沁みて痛い〉体感です。そして波動として伝わってゆきます。例えば膝なら膝の、頭蓋なら脳の体積が一時的に急速に増えます。それを〈沁みて痛い〉と感じ取るのです。急速に毛細血流が増加しますから、温かくなります。一番それが実感できるのは上眼瞼に打つと実感できます。

①上眼瞼に打つ

眼球全体がジーンと熱くなります。その状態が5分くらい続きます。その時に眼球全体及びその周囲眼瞼等に毛細管流が急速に増えています。眼球全体が大きくなり、眼瞼は挙上し、流入する光の量が多くなり、明るくはつきり見えるようになります。すると目についている色々な病気の診断名の解消にも繋がります。ご老人の眼瞼は細いですが、それが改善します。明るくなり視野が開けます。

②老化

老化とは毛細管流が急速に退化即ちゴースト化で消えて行き、臓器は委縮し、機能が退化する現象です。

例えば御老人のMRIで脳萎縮が著しいというのは脳神経細胞の減少より前に、それをサ

プライする脳毛細管流が減少し、血流が減り、微小神経線維の束の壊死やアミロイド β やタウ蛋白が増え、洗い流すリンパ系も減少し、脳全体としては体積が減少します。認知症等はその行き着く先にあります。

子供のアトピー性皮膚炎を見ても、ある見方からすれば、皮膚がいかにも乾燥し、老化して見えます。皮膚をサプライする毛細管流が足りていないのです。そのため皮膚は乾燥し剥落しやすく、菲薄化し被刺激性が増え、痒くて痒くてという症状が増加し、搔破しさらに皮膚状態を悪化させます。

Y.I.T.は打ったスポットを中心に急速に皮膚上にクワデルを作り、平面的にも深度的にも毛細管血流を増やしています。局部全体としては体積が急に増してゆきます。その刺激が沁みて痛いという感覚になります。筋肉中の毛細管流も増えますから、流入する中性脂肪が増え、脂肪酸の取り込みも多くなり燃焼度が増します。それを温かさと感じます。(脂肪酸は筋肉中で燃焼し、筋肉のエネルギー源です。糖よりも単位gあたりの燃焼カロリーは倍以上あります。血中中性脂肪はグリセリンに3つの脂肪酸が付いたものです。Y.I.T.の注射材料はこのグリセリン50%と水50%(鳥居薬品製)で現に使用できるアレルゲンエキス(鳥居薬品製)を超微希釈したものです。筋肉の燃焼度が増すと〈気分が良くなった〉と感じます。特に糖尿病の人は言います。一風呂浴あびたようだ。糖尿病の人にインシュリンを打っても、即座に温かさが湧いてくる感覚は起きません。インシュリンには毛細管流を増やす働きはありません。従ってこの〈沁みて痛い感覚〉とは毛細血管拡張と血流を急速に増やし、当該組織を急速に膨張・修復している現象で、非常に大切な現象です。小児や大人でもこの〈沁みて痛い〉という感覚を嫌って受けようとしませんが、その効果

は〈元へ戻す、より若い方に戻す〉と言う事です。老化(萎縮)と真逆の変化を遣っています。萎縮した脳の頭皮上から刺激を与えても、そう簡単には修復しませんが、Y.I.T.は脳内まで刺激が浸透して来るのが自覚できます。頭蓋骨と言う障害物を超えて刺激は伝搬します。頭蓋電気刺激療法ではどうでしょうか? Y.I.T.より効果あるでしょうか? 比べてみたいです。なかなか患者さんは痛さに耐えきれませんので、認知機能の衰えた人がこの痛い治療を進んでやることはないという矛盾はありますが、可能ならば、繰り返し繰り返し長期間やるのが良いと思います。老いて変形性膝関節症になり、歩行時の痛みを抱える人は多いと思いますが、膝にY.I.T.をやると、膝全体が痺れるように強烈な熱い痛みになりますが、5分もすると痛くなくなり、調子よく歩けるようにもなります。毛細管流が急激に増加し、筋膜リリースが行われ、軟部組織の修復が進み、筋肉の生理的燃焼度が増大し、筋力が付き、関節可動域が改善するからです。余談ですが頭髪に勢いが付き、爪の伸びが早くなります。

③筋膜リリース

膝には頭蓋骨のような障害物はないから、直接修復に関われます。変形性脊柱管狭窄症・股関節・仙腸関節・肩関節等関節類にも皮内注射ですから器用にやれ、かつ効果的です。指等の小さな関節にもやれます。刺激は平面的広がりだけでなく、深く筋肉の毛細管流を増やしてゆきますから筋肉中に中性脂肪からの脂肪酸が多く供給されるようになり、筋肉中の脂肪酸の燃焼が増え、体は温かくなります。2週間毎に1年以上継続してやっていると、血中中性脂肪(TG)が漸減するのが判ります。運動しているのと同じなので、次第に糖尿病の糖の指標HbA1cも減少して来ます。糖尿病の人は1回遣る毎に一時的痛さを超えて、気分が

◆ Clinical Academic Topics ◆

良くなったと言います。普通の人も注射後5分も経ると、ああ気分が良くなったと言います。インシュリンより効果的だと思います。

関節周囲の皮膚にやると、その循環が急速に増し、筋膜リリースが起こり、付随筋肉の燃焼も増し、修復に大いに役立ちます。リュウマチ性関節炎その他関節炎・関節周囲炎には著効です。この方法は筋膜リリースと言う点からも、最も自然に当該部分を修復する方法だと思えます。人工関節移植の数を減らし、移植後のリハビリにも適します。でも皮内注射を打たれた人は痺れるような痛みを2～3分感じ、直ぐに温感に代わります。

④カプサイシンとの比較

唐辛子を口に入れた時に辛さを感じると同時に温感が湧いてきますが、これはカプサイシンのなせる業です。カプサイシンは未だ医療的利用は少ないですが、Y.I.T.は皮膚を利用し、痺れるような痛みと温感を起こし、このことが医療的応用を可能にします。カプサイシンは辛さが脳で誤認されて温感と感じられると証明した人がいて、2021年ノーベル賞を頂いた方がおられますが、辛さという刺激が筋肉中の毛細管流を急速に増やし、血中中性脂肪から筋肉中に取り込む脂肪酸が増え燃焼量が増えるので温感に変わるのではと思います。これも焼灼療法の1つであり、ショック療法の1つです。

⑤サルコペニアとフレイルと筋膜リリース

Y.I.T.は筋膜リリースとして最も効果的だと思います。筋肉がスムーズに動くためには、毛細血流の増加がまず初めに必要で、筋膜の滑りの良さが必要です。筋膜を柔らかくし滑りを良くして、解きほぐすことを「筋膜リリース」と言います。筋膜リリースを行うことにより、筋肉の柔軟性を引き出し、関節の可動域を拡大します。この筋膜リリースを積極的且つ器用に行

える方法がY.I.T.です。筋力が衰えてくると、姿勢保持筋も衰え、背中・腰が曲がってきますがY.I.T.を頸部から腰部までやっていると次第に改善されます。筋膜リリースとは、筋膜の委縮・癒着を引き剥がしたり、引き離したり、こすったりすることで、正常な状態に戻すことを言いますが、Y.I.T.が最も効果的です。まだ誰も考えていませんが、サルコペニアからフレイルへの移行の予防・治療になり、腰部にある腎血流も増やします。腎毛細管流を増やすということは老化防止に最も大切なことです。現在腎毛細管流を増強する薬剤はあるのでしょうか？皆無です。腎毛細管流を増強するという事は若返りそのものなのです。或る老御婦人がたらたらとしか出なかった排尿が、シャーと出るようになり、驚いて親戚中に電話をかけまくったというエピソードもあります。

若い人に付き添われ、それまで数年継続して歩行不安定な93歳になった御婦人が「私自然に死にたいから、この療法やめます」と言うのです。ですがその後も継続してやってこられて96歳になりました。「これ効くね」と言うのです。

この方は来院した時は弱々しい不安定歩行ですか、帰る時は少し安定感が増しています。その繰り返しをしています。

⑥最後に Y.I.T. を胸壁に打つ

胸壁は肋骨・胸骨・脊柱骨・鎖骨と関節で連結し、その後ろで肩甲骨に守られています。胸壁に打撲等の異変、心・肺に異変が起こりますと直ちに呼吸困難になります。これは胸壁を構成する諸関節がロックするためです。このロックを直ちに解除できるのがY.I.T.です。すると浅い呼吸から深い呼吸が可能になり救われます。長年多量痰を伴う咳を有する人に遣ってあげると、深い呼吸ができるようになったと喜ばれる経験もありました。狭心症に打ってくれと言われて打っている人3～4名います。